

いくさか 議会だより

令和6年12月定例会号

No.
168

令和7年(2025)
1月24日 発行

委員会報告…………… P4-5
一般質問…………… P6-9



中学生議会傍聴

12月定例会の流れ

10日 開会
本会議

11日
一般質問

12日・13日
常任委員会

17日 閉会
本会議

謹賀新年

新年のごあいさつ



議長 太田 譲

新年明けましておめでとうございます。
います。

輝かしい新春を迎えるにあたり
議會を代表して、新年のご挨拶を
申し上げます。

村民の皆様には、平素から議會
に対しまして温かいご支援とご理解
を賜り議員一同深くお礼申し上げ
ます。

さて生坂村議會議員は、この5
月に任期満了をむかえます。そこ
で次回の選挙に向けた施策として
議員報酬を一律に戻す改定を行
いました。令和2年12月に「議員
のなり手不足の解消」と「若者の

候補を期待をしているところです。

議會の活動としては、談話室「山
彦」を「待つ」から「行く」にフェ
ーズを変えて、出張「山彦」を実施し、
これまでお話の出来なかった方々
を中心に1人でも多くの皆さまの
意見を聴収し反映していけるよう
引き続き進めていきます。

また、新たな取組として子供達
に村や議會に関心を持ってもらう
ため、中学校の授業にお邪魔して
共に公民について勉強をしながら、
授業内容に村や議會をリンクさせ
て村について一緒に考え意見交換
を行いました。こうした取組みが
きっかけとなり中学生の議會傍聴
にも繋がりました。今後中学校
と調整しながら継続していきたい
と考えています。

そのほか議員それぞれ、村の活
性化、福祉の充実、観光振興、伝
統文化の継承など住民生活の維
持・向上に繋がる活動を行うこと
もに、一般質問等で政策提言をす
るなど、日々村民の負託に応えら
れるよう行政と共に引き続き努力を
していきます。

2025年の巳年は60年周期の
干支の中で42番目に位置し、「努
力を重ね、物事を安定させていく」

という意味合いを持つ年です。議
会としても、村の抱える課題に
しっかりと向き合い、安定した議
会を目指します。持続可能な生坂
村として進んでいけるよう、将来
を見据えた議會活動に努めます。
皆様方のご意見、ご指導を賜り、
より身近な議會、関心を持って
いただける議會となるよう、全議員
で努力して参ります。
結びに、新しい年が村民の皆様
にとりまして、幸せで実り多い年
となりますよう、議員一同心より
ご祈念申し上げます、ご挨拶いたし
ます。

令和7年1月

副議長	藤澤	幸恵
議員	島	幸恵
議員	山本	吉人
議員	望月	典子
議員	字引	文威
議員	平田	勝章
議員	吉澤	弘迪

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和6年12月定例会 審議した議案との結果		審議結果	島幸恵	山本吉人	藤澤幸恵	望月典子	宇引文威	平田勝章	吉澤弘迪	太田讓
報告	村の義務に属する和解及び損害賠償の額の専決処分について	報告	—	—	—	—	—	—	—	※
	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第4号】（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
事件案	生坂村若者コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
条例案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
補正予算	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第5号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村営バス特別会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村福祉センター特別会計補正予算【第1号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村介護保険特別会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村簡易水道事業会計補正予算【第1号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村下水道事業会計補正予算【第1号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
陳情	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める陳情	文書配布	○	○	○	○	○	○	○	※
	福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情	文書配布	×	○	○	○	○	○	○	※
追加議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村一般会計補正予算【第6号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村福祉センター特別会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村介護保険特別会計補正予算【第3号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和6年度生坂村簡易水道事業会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
発議	生坂村議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	×	○	○	×	○	○	○	※

総務建経常任委員会

生坂村若者コミュニティセンター
の指定管理者の指定について

問 若者コミュニティセンターの共有トイレの清掃は誰がやっているのか。

答 日々の清掃はSHONEN合同会社が行っている。あと年一回業者に清掃してもらっている。



若者コミュニティセンター

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案

(質疑なし)

令和6年度生坂村一般会計補正予算(第5号)について

総務課関係

問 脱炭素事業のマイクログリッド工事費請負費本年度分を使って小水力発電の設計に使用する理由は。

答 令和7年度から工事を始めるには詳細設計を本年度中に作成しなければならぬため。

問 自転車用ヘルメット申請の状況は。

答 現在まで10件程度の申請がある。



自転車ヘルメット

振興課関係

問 除雪路線はどんな基準で決めているのか。

答 平成26年2月の大雪の時のデータをもとにこの10年間決めていいる。また各区長に必要除雪路線を聞き、追加及び削除する路線を決めている。

問 幹線道路以外の道の除雪はできないのか。

答 幹線道路以外の道は各区、常会に対応してもらっている。

問 各区に配備している除雪機の点検はしているのか。

答 定期的に点検しており除雪必要時に稼働出来るようにしている。



手押し除雪機

令和6年度生坂村営バス特別会計補正予算(第2号)

問 EVバスはいつ入り稼働するのか。

答 来年2月上旬にEVバスが納車予定3月上旬に充電設備の設置予定になっている。稼働予定は3月上

旬以降を予定。



村営バスいくりん

令和6年度生坂村簡易水道事業会計補正予算(第1号)

(質疑なし)

令和6年度生坂村下水道事業会計補正予算(第1号)

問 中継ポンプ等の修繕は現在までないのか。

答 年に数回点検を委託しているが、現在のところ修繕しなければならない箇所はない。

問 個人宅の村の管理範囲は。

答 浄化槽本体、流入部、排水部の規定範囲及びブロー部分が管理範囲になる。

社会文教常任委員会

令和6年度生坂村一般会計補正予算(第5号)について

住民課関係

問 歯科診療所の診療報酬が昨年度比230万円減となった要因は。

答 利用者が減っていること、新規の患者さんが少ないため。

意見 診療所維持のために、村として足りない部分を出すことは必要。入り口のスロープに手すりがないとの声があり、検討してほしい。



歯科診療所

健康福祉課関係

問 非課税世帯臨時特別給付金が235万円減額になった理由は。

答 非課税世帯、転入者の見込みも含め全て対象としたため、申請されなかった分を減額補正として計上。

また、システムによらず自力で対応でき、システム委託料を減額した。

教育委員会関係

問 小中学校でのタブレット使用状況は。

答 教科書が一部電子化され、音声や動画などの教材を授業で使用、また、先生と児童生徒間の授業内のやりとり、家庭学習でも活用している。



学校タブレット

問 今年度、児童館にエアコンが設置されない理由は。

答 設置にかかる国庫交付金に採択されなかった。来年度、脱炭素先行地域づくり事業交付金で設置する。

令和6年度生坂村福祉センター特別会計補正予算(第1号)について

問 パートタイム会計年度任用職員報酬費が増額されている理由は。

答 客数・宴会等増え、一人当たりの勤務時間が増えたため。道の駅で働く方で都合のつく方に、応援に入ってもらっている。

問 年明けに設置されるチップボイラーの稼働時期は。チップは燃料費としてどのくらいを見込んでいますか。

答 浴室、厨房の改修計画もあり、全体の工期と休館日など調整するため稼働時期は未定。チップの燃料費も調整中。

令和6年度生坂村介護保険特別会計補正予算(第2号)について

問 減額になっている項目と、社会福祉協議会は関連があるか。

答 減額の地域密着型介護サービス費は、認知症型サービス・はるかによるもの。現在休止しているため給付がない。増額分は訪問介護・通所介護が伸びているのは、社会福祉協議会との関係性がある。

問 生活支援体制支援事業費で行われた「いどばたキャラバン」の参加状況等は。

答 地域の方の交流を目的に10区で実施し、後半は参加者も多く集まった。交流のあり方、事業を継続する

かについて等、今後の課題である。



いどばたキャラバン

陳情

・臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める陳情について

国内の臓器提供が年間1000件程度、希望者数の0.6%という現状で、国として渡航防止に踏み込むのは難しいのではないかと、この意見で資料配布と決定。

・福祉医療制度を国の制度として確立すること、医療助成に係る国民健康保険の国庫負担軽減減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情について

どこに住んでも格差なく必要な医療が受けられるよう、国として制度を確立してほしいとの陳情趣旨は理解するが、全国一律にするべきなのかという意見があり、資料配布と決定。

一般質問

12月
定例会

村政そこが知りたい!!



6名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け、議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

7P〔上〕

ひろみち
吉澤弘迪 議員

○村長の政治姿勢について

8P〔下〕

かつあき
平田勝章 議員

○脱炭素事業について

7P〔下〕

よしと
山本吉人 議員

○アウトドアフィールドの観光、レジャーの
展望について
○脱炭素事業について

9P〔上〕

ゆきえ
島 幸恵 議員

○人口減少対策とジェンダー、働き方について
○PFASについて

8P〔上〕

のりこ
望月典子 議員

○道の駅いくさかの郷について

9P〔下〕

ふみたけ
字引文威 議員

○脱炭素事業の進捗状況について

QRコードを読み込むと
一般質問が見られます



傍聴もできますので、
お越し下さい。



吉澤弘迪議員

村長の政治理念は

村長 協働による村づくり



問 村長の村づくりに対して理念哲学は何か。

村長 村民と行政が対等な関係と信頼関係で結ばれ、それぞれの役割分担を認識し合い協働による村づくりという共有課題に向かって協力連携が必要と考え「自助・共助・公助」である。

問 平成13年の平成の大合併時、生坂村は「村の進むべき方向」を「当面の自立」と定めて現在に至っている。以来20年が経過し現在は「自立」に向かつての村づくりが定着しているので「村の進むべき方向」を「自立」と宣言していただきたいが。

村長 令和2年の第6次総合計画の村民アンケートでは「合併すべき」「将来合併すべき」の回答が36%から21%に減少して村民も合併については慎重になっている。近隣の状況や当村の財政状況、脱炭素先行地域づくり事業などを考えており、私の任期中は合併せず自立の道を歩んでいく。

問 人口減少時代で当村も福祉予算の増加、税収の減少、上下水道、村営バス利用者の減少、農地耕作者の減少による荒廃地の増加など村政に大きな影響が出ることが心配される。対策として公共施設の他村との共有化村民サービスの広域化、事務事業の共有化など村政改革を進める必要があると考えるが。

村長 現在広域連携として松本広域連合、穂高広域施設組合、安曇野松筑広域施設組合で住民サービスの広域化を実施しているが、今後財源確保の一つとして「企業版ふるさと納税」の活用を考えていきたい。

問 厳しい社会情勢の中でその変化に対応でき「今、自分が直面している課題にどのように行動すべきか」という問題意識を持って対処できる人材育成が村づくりに必要と考えるが。

村長 村民に対する人材育成として生坂大好き塾、生坂未来スクール等も実施して人材育成に努め職員については職場内研修、職場外研修を行う人材育成に取り組んでいるが議員や区の役員のなり手不足は深刻な問題で、生坂村の将来について考え問題意識を持って対処できる人材をどの様に育てていけば良いか検討していきたい。

問 いくさかテラスの電気料プランについて村民から「75歳以上の村民は各種プランに参加出来ず差別扱いで村民に対する平等なサービスという村政の原則からはずれている」と言う声を聴くが村長の見解は。

村長 (株)いくさかテラスと契約された76歳以上の世帯についても高齢者世帯対策として冷房や暖房に使用する電気料について減免する対策を検討したい。



山本吉人議員

京ヶ倉登山など生坂村のアウトドアフィールドの観光、レジャーの展望についてその2

村長 モンベルフレンドショップの加入を検討していく



問 8月の議員視察研修時にカヌー体験があり、生坂村でカヌーをしない手はないと強く感じている。これまであるカヌー団体と共に調査、研究してきた結果、これからは犀川でのカヌーによるリバーツーリング(川下り)の宣伝、活用をすべきでは。

住民課長 以前犀川ラフティング体験を行っている。コロナウィルス感染症の影響等によりこれまで休止していたが、アクティビティ体験は観光、レジャーなどの誘客に大変有効と考えている。カヌーも含め実施可能なアクティビティ体験を検討進めていきたい。

振興課長 カヌーは四季折々の景色を楽しめるウオータースポーツであり、初心者でも短時間に乗りこなすことができる。犀川での川下りを行うことで、道路を走っている時と違う風景が見られ、今までと違った生坂村の魅力が再発見できる要素も持っている。議員の調査、研究してきた内容も踏まえて、関係人口の増加に繋げていく

よう検討していきたい。

問 生坂村のアウトドアフィールドをアピールするためにも、モンベル等のフレンドショップなどに加入することは十分な必要性を感じる。村はどう考えているのか。

村長 総合アウトドアメーカーである「モンベル」が運営する会員制クラブの提携先ショップに加入登録すると「モンベルフレンドショップ」として、会員向けの季刊誌やアプリ、店舗での情報発信やイベントの告知、また商品の取り扱いなどが可能になる。

長野県内では、モンベルの店舗を道の駅に併設しているところもあり、当村は安曇野市にモンベルの店舗があり、やまなみ荘や道の駅いくさかの郷をフレンドショップに加入することで、やまなみ荘やいくさかの郷の更なる認知度の向上が見込まれ、誘客に繋がるものと思われる。登録料など費用効果も含めて検討していく。



望月典子議員

道の駅「いづさかの郷」について

村長 今後も安定した運営を目指し、売り場の品揃えも努力したい



問 オープンから5年が経過したいくさかの郷のターゲットをどうするのか、売り場の商品の構成はどうするのか、村の見解を質したい。

村長 いづさかの郷直売所の売上は年々増加しており、令和5年度は9,700万円強の売上となっている。ぶどうの売上についても同様で、出荷が一番多い9月の令和6年度は4,050万ほどとなっている。かあさん家のおやきも好評で県外の客も多く来店されている。

そこで今後運営していくにあたってのターゲットだが、来客者の大半が村外者であり、イクサカラットの各種ぶどう、ハチク、キノコ、山菜等の農林水産物を求めて来村する村外者にターゲットを向けながら、交流人口増につなげたいと考えている。

商品の仕入れなども開店当初から協議検討して進めているが、生鮮食品は高リスクになってしまつので冷凍食品で対応している。現在の日配品は冷凍の肉、シンギスカンや豚の生姜焼き、パン類、また、レンジで温

めればすぐ食べられる冷凍食品も扱っている。

問 冬場は遠来の客も減る。地元住民のために鍋の具材を売場に並べたらどうか。冷凍の魚介類、しらたき、かまぼこ、だし汁等だが。

村長 冷凍の魚介類はじめ他の具材も含め商品には賞味期限というリスクがある。経営面のことも考えなければならぬ。定例会等で協議したい。

問 ソフトクリームの売場を設置するのはどうか。誘客に繋がると思うが。

村長 ソフトクリームの機械は以前やまなみ荘にもあったが、回転が良いと採算が取れるのだが売れ残るとロスとなって却って赤字となるといふリスクもあると聞いている。行列の出来ている店もあるが、生坂ではそれは難しいと思う。

現状はぶどうを中心の副産物の直売所という形だが村民の需要に沿うように、また順調に運営出来るように取り組んでいきたいと思っているので皆さんのご理解をお願いしたい。



平田勝章議員

創造の森全体の構想がわからないが

村長 現在関係者にて計画の策定作業を進めている



問 オフグリッドハウスの建設及び進捗状況は。

村長 創造の森「オフグリッドハウス」は、令和5年度に事業費495万円で計画設計の発注を行い、令和7年2月28日までの事業として、現在、継続して事業を進めており、当初の令和6年度の建設に関しては、令和7年度以降に予定している。

問 森林・竹林の整備の現状は

村長 観光庁の第2のふるさとづくりプロジェクト「旅するいきもの大学校」は、村外から参加者を募り生物の学習や地域資源を活用した活動を通じて、人口の増加につながる事業として進めている。県の林業コンサルト協会や共同提案者である山仕事創造舎など、関係者と実施に向けた調整を行っている。

問 全体の建物や環境はどのようになるのか。

村長 必要な用地等に関しては、オフグリッドハウスの設計業者である遠野未来建築事務所、合同会社ヒツタイシヨラの関係者にて、計画の策定作業を進めている。

オフグリッドハウスは環境省の脱炭素先行地域づくり交付金、農道の拡幅では、農水省の最適土地利用総合対策事業で設計を行い、工事は農地耕作条件改善事業を予定しているが、今後の全体整備を行っていく上では、整備費用に一定の財源の確保が必要であり、時間を要することは想定される。

問 駐車場の屋根の建設に伴う費用に補助が出るか。

総務課長 ソーラーカーポートは設置費用の3分の2が対象経費として補助が出る。

問 「龍と子」は脱炭素事業に関する説明会資料として、今後も疑問点等を掲載する冊子として発行するのか。

総務課長 事業の取組み内容や疑問を知らせてきた。脱炭素先行地域事業を推進していく上で、情報ツールとして、事業内容をお伝えするとともに事業に関する疑問点等についても情報共有の場として掲載を進めいく。





島幸恵議員

女性に一定の議席を割り当てる
クォータ制に対する考えは
村長 ジェンダーギャップを暫定的に
解消するものと理解している



問 生坂村は若年女性人口減少率が高いと予想され、消滅可能性自治体とされた。若い女性が村に戻ってこない理由として考えられることは。

教育長 大きく3つ①高等教育機関がない②就業先が限られ賃金の差がある③地域や家庭に残る伝統的な慣習や男女の役割分担が敬遠される。

問 兵庫県豊岡市は調査し、女性流しの背景に、職場や地域、家庭における男女格差・ジェンダーギャップがあるとわかった。生坂村の現状は。

教育長 「政治の場」「社会理念、慣習、しきたり」の2分野で、多くの方は男女格差があると感じている。

問 生坂村役場で、女性管理職育成のため行っていることは。

総務課長 特に管理職ということの立場で行っていることはない。

問 生坂村役場の男性職員の育児休業取得率は。

総務課長 取得した職員はいない。

問 生坂村で課長級以上は、労働基準法で経営者と一体的な立場にあるものと定義される管理監督者か。

総務課長 管理監督者は本庁の課長、

健康福祉課長、会計管理者、保育園の所長、福祉センターの支配人、教育次長、児童館の館長。

問 公共交通機関が充実していないことも、若者が地方に戻らない原因とされる。昨年の若年層アンケートで、デマンドバスのオンライン予約が提案されていた。導入の考えは。

総務課長 電話予約が確実な運用と考えるが、利用者の利便性が図られるよう今後も検討する。

意見 誰もが暮らしやすい村になれば自然と人も集まるのでは。それには住民の声を聞いて、1つ1つ地道に解決していくことを考える。

問 生坂村の水道水にPFAAS(有機フッ素化合物)は含まれるか。

振興課長 8月に検査し、1リットルあたり5ナノグラム未満の検出。

問 PFAASは身の回りのものに含まれる。WHOで発がん性があるなどと評価された。啓発活動を行う考えは。

住民課長 現在考えてはいないが、国の動向を注視し検討する。



字引文威議員

今後の脱炭素先行地域事業の進め方は
村長 村民の意見に耳を傾け、
ご理解をいただきながら、進めていく



問 民家、民間事業所等の太陽光発電設備の設置進捗状況は。

総務課長 計画総発電量5,600KWに対し令和6年11月末時点での設置状況は、全体で482.9KW分のパネルの設置が終了。民家4件(72KW)、事業所 4件(45.9KW)、公共施設17件(365KW)設置。

問 遊休地等を活用した野立てオフサイト太陽光発電設備の設置進捗状況は。

総務課長 地域の実情・考え方を尊重し土地の選定を行っている。工事の着手は令和7年度に計画しており、来年度の実施に向け、1カ所の調査・実施設計を進めている。

問 太陽光発電設備設置容量はまだ10%弱、今後の90%の設置促進策が必要だが。

総務課長 野立ての設置に関しては民家への設置・オンサイトの件数・パネル数にも関わってくる。野立ての設備を減らしていくためにも、民家への設備設置を進めていく上で、家屋の状況に応じ、屋根以外の敷地内設置も進め、可能な限りオンサイトで対応していく。

問 省エネ機器補助はどれ位を想定か。

総務課長 本年度の導入における1件あたりの平均単価を25万円、年間の見込件数120件として、全体で3,000万円の導入に対して、補助率3分の2である2,000万円を補助金として積算交付予算として見込んでいる。

問 補助金応募状況から見える課題は。

総務課長 令和10年度までの交付金の事業期間ですので導入検討される方に村内の身近な場所で設備を直接、触れて、ご理解いただけるよう、公共施設への導入を進めていく。



問 今後の脱炭素先行地域事業の進め方は。

村長 今後変更可能な事業については、村民の皆さんからのご意見に耳を傾け、ご理解をいただきながら、進めていく。

令和6年度12月補正予算の内容(主な収支)

※数値は四捨五入

■一般会計 (補正第5号) 3,329万円 (総額) 34億0,959万円

歳入	歳出
地方交付税 783万円	議会費 77万円 議事録作成委託56万円ほか
分担金及び負担金 12万円	総務費 458万円 郵便料金120万円、人件費ほか
使用料及び手数料 1,416万円	民生費 778万円 福祉センター繰出759万円、障がい者自立支援298万円ほか
国庫支出金 -73万円	衛生費 197万円 歯科診療所運営委託190万円、带状疱疹ワクチン予防接種53万円ほか
県支出金 490万円	農林水産業費 1,234万円 道の駅材料費1,192万円、新規就農者育成総合対策56万円ほか
繰越金 691万円	土木費 563万円 除雪業務費用500万円、人件費ほか
村債 -40万円	教育費 -218万円 人件費、不用額の減
寄付金 50万円	災害復旧費 240万円 農地災害復旧(日岐地区)
計 3,329万円	計 3,329万円

村営バス特別会計	簡易水道事業会計
補正額 68万円	収益的収入補正額 97万円
収支総額 4,938万円	収益的収入総額 7,516万円
	収益的支出補正額 1万円
	収益的支出総額 7,420万円
福祉センター特別会計	下水道事業会計
補正額 762万円	収益的支出補正額 84万円
収支総額 1億2,022万円	収益的支出総額 8,044万円
介護保険特別会計	
補正額 2,837万円	
収支総額 3億2,992万円	

議 会 日 誌

(主なものを掲載)

11月

- 5日 松本広域連合議会定例会(松本市)
- 松塩安筑老人福祉(松本市)
- 7日 県道上生坂信濃松川停車場線及び宇留賀池田線整備期成同盟会総会(池田町)
- 8日 議会改革検討会
- 10日 商工感謝祭
- 13日 道の駅いくさかの郷定例会
- 16日 松本山雅ホームタウンデー(松本市)
- 18日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 19日 やまなみ荘定例会
- 21日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会及び全員協議会(塩尻市)
- 25日 議会運営委員会
- 生坂農業未来創りプロジェクト会議
- 26~27日 定期監査
- 27日 安曇野松塩地区広域環境施設組合議会定例会(安曇野市)
- 29日 定期監査・例月出納検査

- 19日 福祉センター運営委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 赤とんぼフェスティバル反省会
- 25日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 26日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
- 例月出納検査

1月

- 3日 二十歳の集い
- 7日 有害鳥獣駆除対策協議会
- 10日 議会だより編集委員会
- 12日 生坂村消防団出初式
- 14日 賀詞交歓会
- 15日 上下水道運営委員会
- 道の駅いくさかの郷定例会
- 16日 やまなみ荘定例会
- 歯科診療所運営委員会
- 社会就労センター運営委員会
- 17日 議会全員協議会・臨時議会
- 第46回松本地域正副議長懇話会(塩尻市)
- 21日 JA松本ハイランド農協との行政懇談会
- 27日 有線テレビジョン番組審議会
- 村営バス運営委員会
- ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 28日 消防委員会
- 29日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
- 国民健康保険運営委員会
- 介護保険運営委員会

12月

- 2日 県道275号及び274号整備期成同盟会県要望(長野市)
- 4日 議会全委員協議会
- 10日 12月定例会 開会
- 11日 本会議・一般質問
- 12日 総務建経常任委員会
- 13日 社会文教常任委員会
- 16日 やまなみ荘定例会
- 17日 本会議・追加議案・閉会
- 議会全員協議会
- 道の駅いくさかの郷定例会

議員報酬の改定を行いました

提 言 書

令和6年11月22日

生坂村長 藤澤泰彦 殿

生坂村議会議長 太田讓
議会改革検討会座長 平田勝章

持続可能な村づくりに向け、生坂村議会の議会活動を促進させるためここに提言します。

記

1 改定内容

①第1条 (1)議長267,000円を議長318,000円 (2)副議長200,000円を副議長251,000円 (3)常任委員長182,000円を常任委員長233,000円 (4)運営委員長182,000円を運営委員長233,000円 (5)議員180,000円 ただし、当選時に満56才未満の議員は300,000円とする。を議員231,000円に変更する。

②第1条 2項から4項を削除する。

【趣旨】

令和3年4月から「年齢56才未満の者の議員報酬月額300,000円とする」ことで実施してきましたが、多くの議員から年齢による仕事量に差は無く、また区別することで議会運営に支障をきたす恐れがあるなどの意見があり、議会改革検討会で協議を重ね報酬については平等にすることと併せ、何十年も見直しをしてこなかった基本報酬額180,000円を全国町村議員の平均報酬額217,000円と令和5年長野県世代別収入20～24才の平均収入222,000円を参考にして、その中間値220,000円を基準に、人事院勧告によって令和6年4月時点の民間給与との格差として示された11,183円を加え算出しました。

最後まで「年齢56才未満の者の議員報酬月額300,000円とする」現条例の維持を唱える議員もいましたが、この改正を機に「村を愛し、村の事を理解している議員」の参画を図るとともに更なる議員活動の活性化を進めることが、住民全体の代表者として「確かな暮らしを明日につなぎ明るく健やかに生きる村」に向けた諸活動をおこなえる環境が整い、結果「持続可能な村づくり」に繋がるものと議会として判断し、今がその時と捉えこれからの議会を構成する全議員が意欲と情熱を持って議員活動が出来るよう生坂村議会の賛同をもって議員報酬の改定が必要と考え提言とするものです。

以上、趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い致します。

令和3年5月から「55歳以下の議員報酬月額30万円」という施策で「若者の議会参画」を促がしてきましたが、令和5年8月の村民アンケートにおいて現条例見直しの意見を多く頂きました。このことを議会とし

て真摯に受け止め、検討会で協議を重ねてきました。これからの議会には幅広い世代の議員構成が望ましく、また議員の活動には年齢による差は無く、生坂村に深い愛着を持つ人材が必要と判断し、議員報酬を一律に

戻し地方議会の「なり手不足」において課題とされている報酬の底上げを図ることとしました。

審議会答申を受けて

提言書を受け、12月4日に特別職報酬等審議会が開催され、6日に村長より答申を頂きました。内容として報酬の一律化とベースアップには賛同できるが、村の財政も鑑みて令和6年度の議会費を基準として報酬月額は21万5千円との答申を頂きました。議会は住民の代表である審議会の答申を尊重し、12月定例会で議員発議で条例改正をおこないました。



腰原 智之さん

下生野在住

生坂村消防団
第一分団長

Q 出初式お疲れ様でした。分団長として消防活動について心掛けていますか。

A 団員としては村民として地域に住む者として当たり前ですが、分団長としては団員が安心して活動できるように心掛けています。

Q 昨年は無火災(村内)、日頃の啓発活動が実を結びましたね。

A 村民の皆さまが予防消防に対する意識を高く持って頂いている結果だと思っています。そして村民、団員の家族が消防活動に

ご理解ご協力があり啓発活動をおこなうことが出来ていることに感謝しています。

Q 村で生まれ育ち、結婚されて村で生活をされていますが。

A 田舎ならではのご近所との繋がり、温かみが素晴らしい。結婚してからその繋がりや手厚い行政サービスもあり安心して子育ても出来た。

Q 今後、村に期待することは。

A 地域の産業開発や企業の誘致を模索してもらいたい。コンビニも必要だと思うので誘致に向け取り組んでほしい。

Q 今の議会に一言。

A 村、村民益に繋がる諸活動がありとうございます。消火栓ペイントは消防としても嬉しかったです。

Q 今後、議会に期待することは。

A 任期は残り少ないですが、次に繋がる取り組みを頑張ってもらいたい。4月の選挙には村の為に立候補してもらいたい。そして諸課題に対して前向きに議論して、村を良い方向に導いてもらいたい。

中学生12月定例会傍聴の感想

議会を傍聴させていただき、生坂村をより良くするために様々なアイデアを出し、自分の意見を明確に発信していたので、議員さん達のお陰で、村民が快適に過ごせているのだという実感が湧きました。これからも村のために活躍してほしいと思います。頑張ってください！

初めて議会傍聴し観光について議論していて素晴らしいと思いました。自分の意見は生坂村にはたくさん土地があるので、あらゆるスポーツ施設ができればいいと考えています。例えば村外のスポーツ施設の良い所だけを集約し、それをアレンジすることで生坂村にしかないアミューズメントパークのようなものができれば多くの方が生坂村に来てくれるような気がします。これかも生坂村をよくするための議論を続けてほしいです。

傍聴をして、ここが生坂村の事業を進めていく第一歩となる場所なのだということが改めて分かり、私たちが今幸せに暮らしている事に感謝の気持ちで一杯になりました。これからも生坂村の未来がより良くなるための事業に期待しています。

編集後記

早いもので、任期中の定例会は3月を残すのみとなりました。12月定例会で、議員報酬は55才以下への優遇をやめ、一律にすることが決まりました。私は、議会として決めた「一律にする」という方針を、条例改正発議前に、議会だよりや議会報告会などでお知らせするべきではなかったかと考えています。村特別職報酬等審議会から、議会の活動が見えにくいと厳しい意見が出ました。発信がしっかりできていなかった、私たち現役議員の責任です。今回の一般質問で、人口減少対策についても聞きました。議員の仕事は、村のためになることを考えて働くことができる、やりがいのある仕事です。働き口が限られる生坂村で、若者が議員になるために戻ってくる…そんな未来のため、発信を工夫していきたいです。

編集・発行責任者

(島 幸恵)

議長 太田 譲

編集委員

委員長 藤澤 幸恵
副委員長 宇引 文威
委員 島 幸恵
山本 吉人
平田 勝章